

(様式2)新規評価シート

農政部

農地整備課

事業種類		ため池の補強等		事業名		県営ため池等整備(ため池の補強)			
市町村名		長野市		あさかわおおいけ 浅川大池		事業年度 (完了年度は見込み)		H27 年度～ H30 年度	
事業概要	区分	事業内容		事業費(千円)		財源内訳(千円)			
	全体	ため池改修 N=1箇所 洪水吐工N=1箇所、取水施設工N=1箇所、転落防止柵工L=300m		200,000		国庫	その他	県債	一般財源
要	H26年度	測量・調査・設計 一式		0		0	0	0	0
箇所評価	区分	評価項目・指標等		評価区分			①得点	②重み 係数	③評点 (①×②)
	必要性	保全対象人家数	■ 10戸以上		□ 1～9戸	□ 0戸	50	0.20	18
		保全対象農地面積	□ 10ha以上		■ 2ha以上10ha未満	□ 2ha未満	15		
		保全対象公共施設	■ 2箇所以上		□ 1箇所	□ なし	25		
		小計					90		
	重要性	ため池の依存度(農業用)	■ ため池以外に水源無し100%		□ 50%以上100%未満	□ 50%未満	35	0.15	8
		ため池受益面積	□ 100ha以上		□ 40ha以上100ha未満	■ 40ha未満	5		
		計画上の環境配慮	■ 配慮有り		□ 配慮無し		15		
		地震区分	□ 地震防災対策強化地域		■ その他		0		
	小計					55			
効率性	防災効果(B/C)	■ 1.2以上		□ 1.1以上1.2未満	□ 1.0以上1.1未満	40	0.10	9	
	事業効果の早期発現(事業年数)	□ 3年未満		■ 3年以上5年未満	□ 5年以上	20			
	コスト縮減・代替案検討の有無	■ コスト縮減や代替案検討等が有		□ コスト縮減や代替案検討等が無		30			
	小計					90			
緊急性	堤体の状況	□ 堤体材料 砂質土		□ 堤体材料 礫質土	■ 堤体材料 粘質土	3	0.35	18	
		■ 堤高10m以上		□ 堤高5m～10m	□ 堤高5m未満	10			
		■ 堤長100m以上		□ 堤長50m～100m	□ 堤長50m未満	10			
	ため池流域比	□ 220～		□ 170～220	□ 120～170	0			
		□ 60～120		■ 10～60	□ 0～10	6			
	ため池の老朽度	□ (様式3)4項目以上該当		■ (様式3)3項目該当	□ (様式3)2項目該当	25			
		□ (様式3)1項目該当				0			
集水流域の崩落による土砂流入履歴	□ 数年起きに崩落あり		□ 過去10年に崩落履歴あり	■ 過去10年に崩落履歴なし	0				
小計					54				
計画	地域からの要望	■ 地域住民の内発的な活動が強い		□ 市町村等からの要望がある	□ 特に要望がない	30	0.20	17	
	事業情報の共有	□ 広く一般に周知		■ 関係者を中心に周知	□ 特に周知していない	15			
	住民参加の状況	■ 住民が計画策定に直接参加		□ 住民や市町村の意見を計画策定に反映	□ 特に住民意見は反映していない	40			
	小計					85			
費用対効果(B/C)		1.4		評価の合計				70	
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	本ため池は、江戸時代以前に築造され、昭和47～52年にかけて老朽ため池等整備事業にて改修されているが、前改修より30年余を経過し経年変化により、洪水吐工にクラックが生じる等構造物の劣化が進行するとともに、これに起因する堤体の漏水があり、ため池の安全性が懸念されている。また、フローティング式の取水施設も老朽化により水管理等維持管理に支障を生じており、下流受益へのかんがいに多大な労力を費やしており、早急な改修による下流地域の安全確保と用水の安定供給が望まれている。							
	地域からの要望経緯	H23管理者である土地改良区の了解のもと、県がため池調査を実施。要改修の判定。調査結果については関係市町村である長野市を通じ管理者に報告。 H24年9月20日、長野市を通じ管理者から県に対して26年度の新規地区として県営で改修事業を申請したい旨打診。							
	事業説明等の経緯	H24年10月10日、管理者である土地改良区の理事会において改修を県営事業として申請する旨正式に決定。H25年3月22日の土地改良区総代会で議決。 H25年9月5日、整備方法の再検討に時間を要するため、事業着手を1年見送ることを、土地改良区、長野市及び県とで確認。土地改良区は、H26年3月25日の総代会において、予定を変更し27年度の新規地区として採択を目指すことを説明予定。							
	環境・景観への配慮項目	当該事業箇所は長野市田園環境マスタープランにおいて環境配慮区域に位置付けられている。 自生植生の保護や景観に配慮した工法を検討し事業実施に努める。							
	他事業・プロジェクトとの関連	なし							
	特記事項								
地域の合意形成		□ 全員賛成		■ 概ね賛成		□ 過半数賛成		□ 動向不明	
部意見	洪水吐の構造検討に、引き続き、時間を要するため、1年見送ることが適当である。			行政改革課 意見		必要性が認められる。			